

研修No. 6 8

2022 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2023年 3 月 9 日
研究・研修課題名	日本救急撮影認定技師認定機構、救急撮影認定技師取得
研究・研修組織名(所属)	放射線部
研究・研修責任者名(所属)	宮原 善徳(放射線部)
研究・研修実施者名(所属)	中尾 健人(放射線部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	中尾 健人(放射線部)
学会名(会期・場所)、認定名等	第13回救急撮影認定試験(2023/03/05, 順天堂大学医療保健学部御茶ノ水センタービル7階)
演題名・認証交付元等	
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**①目的**

救急撮影認定技師は日本救急撮影認定技師認定機構が認定する資格である。この認定資格を有する技師は、救急医療における放射線診療の安全を確保し実施することができ、科学的根拠に基づく放射線診療のあり方を理解し、画像情報を提供する役割を果たすことができる。高度外傷センター、救急外来の勤務に携わる診療放射線技師として密な連携が取れ、質の高い放射線診療を提供することを目的とする。

②方法

受験資格要項として①診療放射線技師歴 診療放射線技師免許保持者であり、5年以上の診療経験を有すること、②救急診療の経験 通算3年以上救急診療業務に携わっている者、③学術・研修成果 申請時からさかのぼって5年以内に別に定める認定単位を30単位以上取得している者、④本申請時から過去1年間に一度は、心肺蘇生法講習会を受講していること、を満たす。各会場で行われる試験を受験する。

③成果

第13回救急撮影認定技師を受験終了す。合否発表は4月下旬である。